

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.31

No. 779 2005年12月22日

JR東海労働組合

これを許していいのか！

人事・賃金制度の大改悪提案される！

12月20日、会社は各組合に「新しい人事・賃金制度等の改正詳細」を提案した。もちろんユニオン本部と会社の綿密な連携の上である。その内容は、各職場の業務用掲示にもはりだされている。一読すれば、大改悪であることは明白である。移行措置が別途提案だから、直ちに現改比較は出来ないが、大きな賃金減になる。にもかかわらず、ユニオン本部は、「この間の私たちJR東海ユニオンの主張をも踏まえた上で・・・当初の骨子提案から大きく前進を実現した。」と評価している。(賃金政策情報No, 15 12/20)。よく言うよ。組合員の声を代弁しているのではなく、経営者の意思を代弁しているのだ。定昇や家族手当(扶養手当)が都市手当・寒冷地手当(調整手当)が、現行と比べてどれだけ下がるか説明してみたらどうか？昇格しないと定昇は所定で100円玉4枚となる。退職手当もどれだけ下がるか説明してみたらどうか？会社に忠誠心を誓うごくごく一部の「優秀」な社員だけが、現行より上がる仕組みだ。大多数の社員は、収入減となる。税金や社会保障費・医療費がどんどん上がるなかで、大幅な収入減なのだ。他方で須田相談役が推定年収1億8千万、葛西会長約8千万、松本社長6千5百万円とプレジデント12月5日号で報じられている。どうして、いま人事・賃金制度の大改悪なのか！職場から怒りの声をあげよう！一方的な休日出勤反対の闘いのただ中から。

全社員の皆さん！「当初の骨子提案から大きく前進を実現した」と宣伝するユニオン本部に黙っていていいのですか？